

# f SERIES

“自動みずとめ”

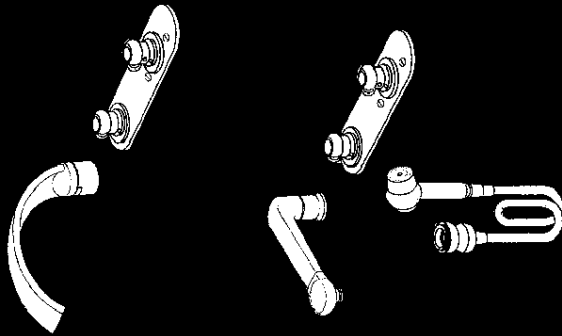
住宅用埋込型定量止水付  
サーモスタット混合栓

## TOTO

## ご愛用のしおり

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ  
 **0120-03-1010**  
 受付時間9:00~17:30(土・日・祝日を除く)

■このたびは、TOTO f SERIES 埋込型定量止水付サーモスタット混合栓をお求めいただきました。まことにありがとうございます。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。



もくじ	
安全上の注意	1~2
特長・各部のなまえ	3
各ハンドルの役目	4
つかいかた	5~6
使用上の注意	6~8
最大設定量の調節のしかた	9~10
温度調節のしかた	11
手入れのしかた	12
ストレーナの掃除	12~14
故障したときは	14~16

# 安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。）

●この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなただけや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示の意味はつぎのようになっています。



**注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。



## 注意

(1)水栓の左側は給湯側のため高温になっています。水栓の表面に直接肌を触れないようにしてください。  
やけどをするおそれがあります。

(2)熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。  
直接肌を触れないでください。  
やけどをするおそれがあります。(カラン付)

(3)使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40℃以下に戻しておいてください。  
次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。

(4)高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。  
次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

(5)ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。  
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

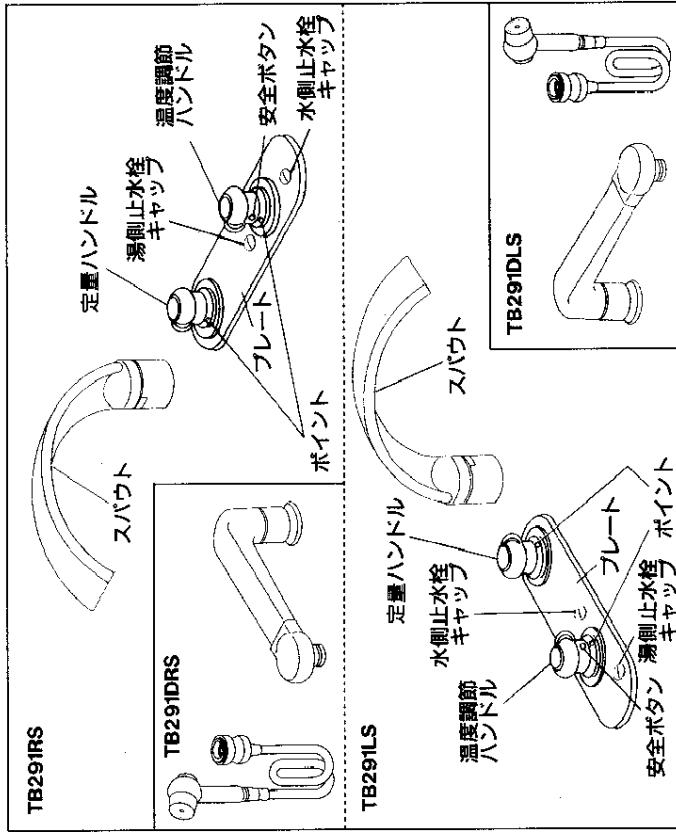
(6)温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、温度調節ハンドルはゆっくり回してください。  
やけどをするおそれがあります。

(7)凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。  
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
(寒冷地用)

(8)ハンドルを急閉させると、配管から漏水を起すおそれがありますので、ゆっくり操作してください。  
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

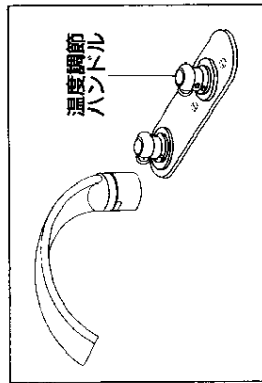
# 特長・各部のなまえ

1. 希望湯量を設定すれば浴槽に湯を貯める間、何度も湯量を気にする必要がなく、湯をあふれさせる心配もありませんので節水省エネに役立ちます。
2. サーモスタット付ですので、使用中に給水・給湯圧力が変わっても吐水温度をほぼ一定に自動調節します。
3. 温度調節ハンドルの操作ひとつで、お望みの温度に変えられます。
4. 湯量の制御は時間ではなく、実際に流れる湯の量で制御する機構のため、水圧の変動で湯量が変わることがほとんどありません。
5. 浴槽の大きさに合わせて必要とすると必要以上吐水しないよう、最大設定量の調節ができます。
6. 掃除用シャワー付の場合は、浴槽・ふろがまの循環パイプ・床・壁などの掃除にご利用いただけます。



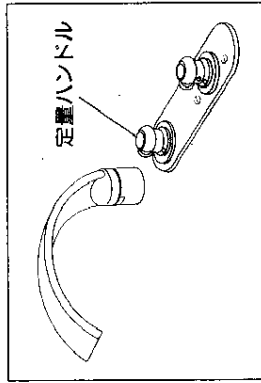
# 各ハンドルの役目

## 1. 温度調節ハンドル



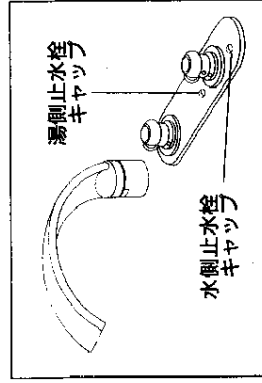
吐水温度を変えるときに使用します。サーモスタット付ですので、調節後は吐水温度がほぼ一定になるように自動調整されます。なお、このハンドルで、湯水を止めることはできません。

## 2. 定量ハンドル



浴槽に湯を貯める際、自動止水させるときに使用します。希望湯量の目盛に設定すれば、その量だけ吐水した後自動止水します。

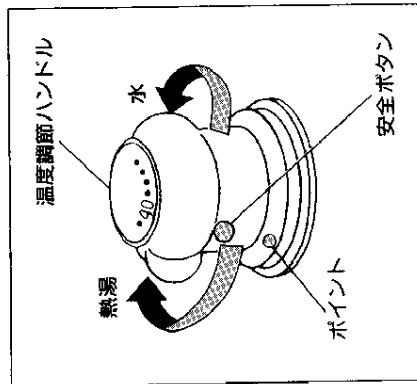
## 3. 湯側・水側止水キヤップ



定量機能が故障し、湯水が止まらないなど緊急を要する時、湯側・水側止水栓キヤップをはずすとドライバースで簡単に止水栓操作ができます。

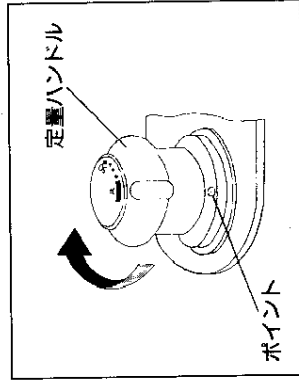
# つかいかた

## 温度調節



温度調節ハンドルを回してお望みの目盛をポイントに合わせるとお望みの温度に調節できます。  
 ハンドルの数字は湯温を示す目安としてください。  
 温度調節ハンドルには誤って熱湯を出さないようにハンドル目盛"40"付近でロックされます。  
 高温で吐水したい時は、安全ボタンを押しながらい回してください。  
 なお、安全ボタンを押して使用した時はハンドルを必ず目盛"40"以下に戻しておいてください。

## 吐水・止水



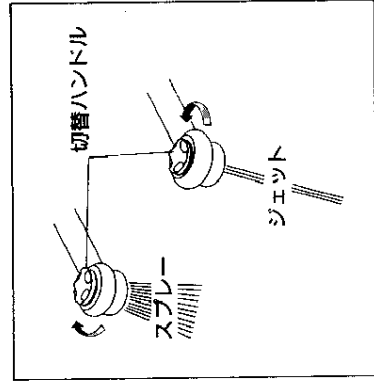
定量ハンドルを矢印方向に回し希望の目盛をポイントに合わせると設定された湯量が自動的に貯められます。  
 途中で止めたい時は、定量ハンドルを矢印と反対方向へ回し「止」位置に戻すと止まります。

## 目盛の目安

浴槽の大きさ	設定目盛
小	150
中	180
大	210

ハンドルの数字がおよその湯量です。(例：150=150L)  
 設定位置の目安は左表のとおりですが、一度湯をためてみてお取付けの浴槽に合った湯量を確認してください。

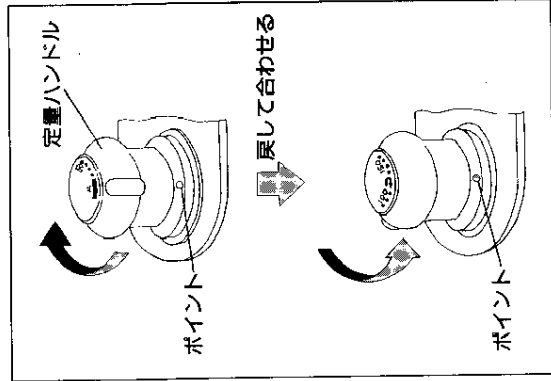
## 掃除シャワーの切替 (TB291DLS・TB291DRS)



切替ハンドルを右に回すとスプレーに、左に回すと、ジェットに切替わります。

# 使用上の注意

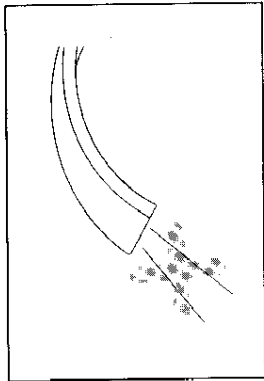
## 1. 120L以下の湯貯め



湯・水を120L以下に設定する時は、定量ハンドルを一旦「止」印以上に回してから希望する目盛に戻してください。  
 (直接120以下の設定に合わせると自動止水しないことがあります。)

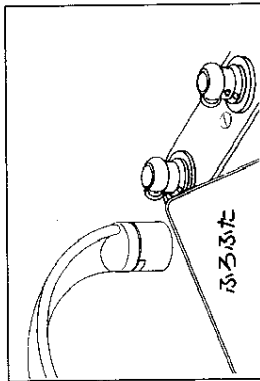
## 2. 吐水流量を極端に絞らないこと

吐水流量は止水栓で調節できますが、余り極端に絞ると、精度が悪くなったり自動止水しないことがあります。目盛150 (約150L) のとき、少なくとも30分以内で止水するぐらいの流量でご使用ください。



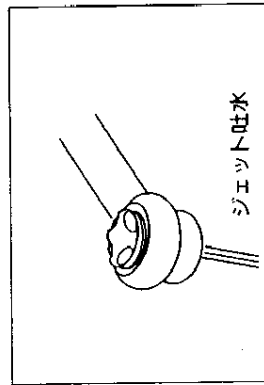
## 3. 自動吐水時は定量ハンドルの自動回転を防げないこと

自動吐水時は定量ハンドルがゆっくりと自動回転しますので、その動きを妨げないようにしてください。動きを妨げると、湯量が多くなったり自動止水しなくなります。(ふるふるたが定量ハンドルにあたらならないようにしてください。)



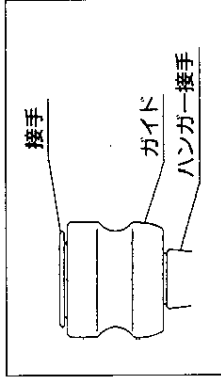
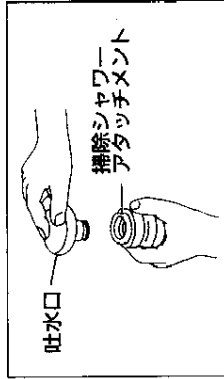
## 4. 掃除用シャワーのジェット側使用時はご注意ください。

掃除用シャワーのジェットの吐水は水勢が強いため、目・耳などには絶対に当たらないでください。



## 5. アタッチメントを着脱するときは、吐水口を手で支えてください。

着脱時にむりな力がかからないように吐水口を手で支えてください。なお、接手がガイドより出ていないと取付できません。(接手がガイドより出ていないときはガイドをハンガーで接手側へ下げて接手をしてください。)

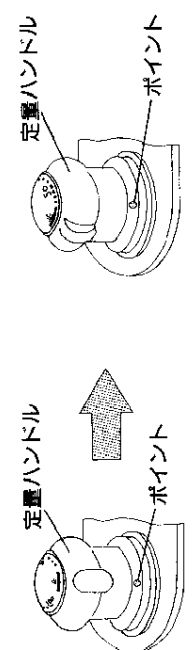
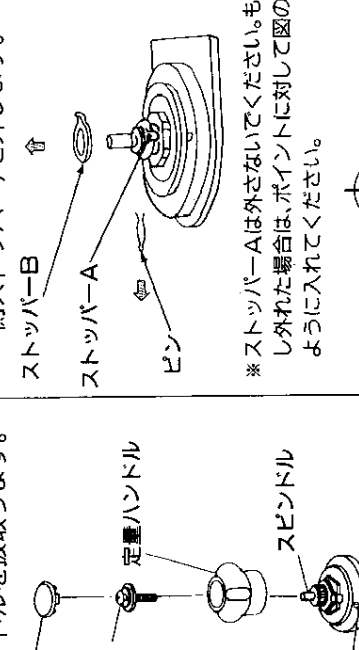
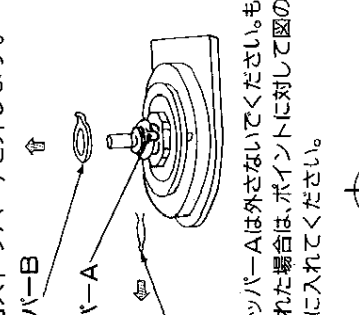
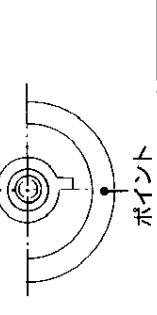


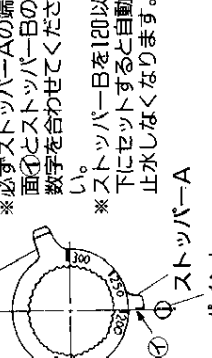

## 給湯機が瞬間型の場合

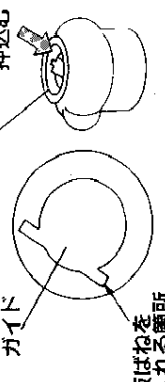
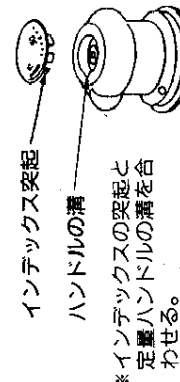
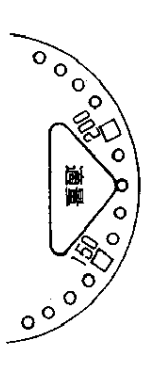
1. 吐水量が少ないと給湯機が着火しないことがありますので、止水栓はできるだけ全開で使用ください。
2. 給湯圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は止水栓で流量調節を行ってください。
3. 混合栓本体から吐水する温度より10°C以上高い温水を供給するよう、給湯機側の温度を設定してください。
4. 次の場合は給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は給湯機の設定温度 (能力切替式の場合は能力) を少し下げてお試してください。
  - ・給水圧力が低いとき
  - ・水温が高いとき

# 最大設定量の調節のしかた

定量ハンドル目盛300（約300L）まで設定できます。  
浴槽の適量以上、定量ハンドルが回せないように最大設定量を調節すること  
ができます。なお、工場出荷時は目盛を250に設定しています。  
定量ハンドルの目盛は、およそ湯量（L）を示しますので、調整する前に実際  
に浴槽に湯又は水を貯めて適量を確認し、次の要領で調節してください。

<p>1. 定量ハンドル目盛がポイント位置で「止」になっていることを確認し 定量ハンドル目盛を「50」～「止」の中間をポイント位置に合わせます。</p> 	<p>2. インテックス、小ねじを外して 定量ハンドルを抜取ります。</p>  <p>スピンドルは、定量ハンドル取付けが 終るまで動かさないください。</p> <p>3. ピンを抜取り、ストップバーB（上 側ストップバー）を外します。</p>  <p>* ストップバーAは外さないでください。も し外れた場合は、ポイントに対して図の ように入れてください。</p> 
--	--

<p>4. ストップバーBを適量にセットし ピンで固定します。 ストップバーBの数字はおよそその 湯量（L）を示し、数字は50単位 になっていますが、10単位の設 定が可能です。 （200Lにセットした場合）</p>  <p>*必ずストップバーAの端 面とストップバーBの 数字を合わせてくださ い。 * ストップバーBを120以 下にセットすると自動 止水しなくなります。</p>	<p>5. 定量ハンドルを取付けます。 スピンドルのカット面と定量ハ ンドルの板ばね位置を合わせて はめ込みます。</p>  <p>* 定量ハンドルをはめ込む時、板ばね が外れた場合スピンドルのカット面 の向きに合わせて、板ばねを元ど うりにドライバーなどで押込んでくだ さい。</p>
--	---

<p>スピンドル ガイド</p>  <p>板ばねを 入れる箇所</p>	<p>6. 小ねじで定量ハンドルを固定し、 インテックスを取付けます。</p>  <p>* インテックス突起と 定量ハンドルの溝を合 わせる。</p>	<p>7. 適量ラベルを貼りつけます。 このページ下段に添付している 適量ラベルを設定量の目盛の上 に下図のように貼りつけてくだ さい。貼る時は、表面の汚れや水 分をよくふきとってください。 適量ラベルを貼っておくと使 用になるとき、設定が容易にで きます。</p> 
--	--	---



適量ラベル

最大設定量の調節をしない場合でも、浴槽に湯をた  
めるとき合わせる目盛の上に適量ラベルを貼ってお  
くと便利です。

# 温度調節のしかた

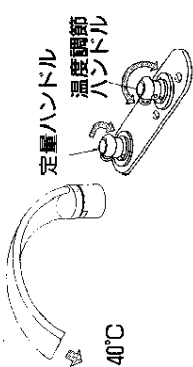
目盛どおりの温度が出ない場合は、次の要領で温度調節をしてください。  
まず、調節する前に、次の点を確かめてください。

(a) ストレナーのごみつまりはないか。(P13、14参照)

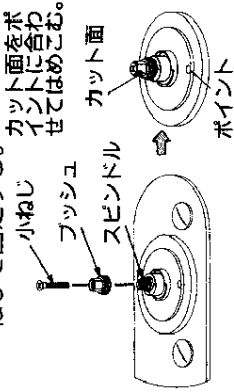
(b) 止水栓が全開しているか。(P13参照)

(c) 十分な温度(使用する温度より10°C以上)の湯がきているか。  
温度が低い場合は、給湯機の温度設定を上げてください。

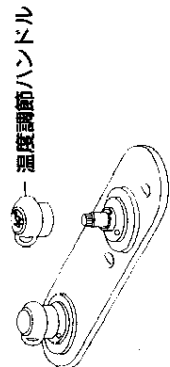
1. 定量ハンドルを開き、温度調節ハンドルの目盛に関係なく40°Cの湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。



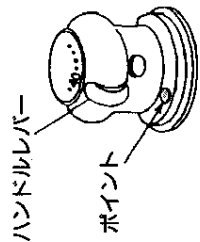
3. 小ねじ、ブッシュをスピンドルが回らないように注意して外し、ブッシュのカット面を、ポイントに合わせはめこみ、小ねじで固定する。カット面をポイントに合わせはめこむ。



2. 温度調節ハンドルが回らないよう注意して温度調節ハンドルを抜取る。

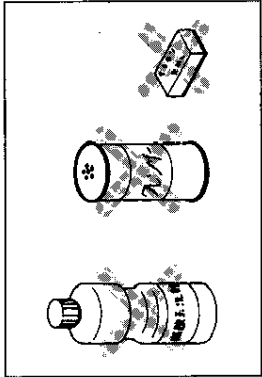


4. 温度調節ハンドルのレバー位置と本体のポイントを合わせ、ハンドルを確実にはめ込む。



# 手入れのしかた

いつまでも美しさを保つために柔らかい布でみがき、めっきされたところはときどきシン油やカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。ただし、樹脂部(ハンドル)に付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。



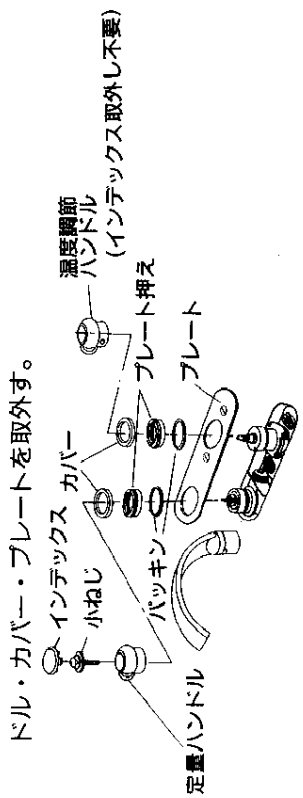
クレンザー・みがき粉などや粗い粉子を含む洗剤及びナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また、酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。まちがって使用したときはすぐに水洗いしてください。

\* カラー塗装品及びパールブライトめっき品は付属の取付説明書をご覧ください。

# ストレナーの掃除

ストレナーがつまると流量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりまますので、ときどき次の要領でストレナーを掃除してください。

1. 下図の順序でインテックス・小ネジ・定量ハンドル・温度調節ハンドル・カバー・プレートを取外す。



1-①カバーが外れない場合  
 カバー 外す (-)ドライバ  
 カバーの下のすき間に(-)ドライバを差込んで取外してください。  
 ②プレート押えが外れない場合  
 プレート押え ゆるめる (-)ドライバ  
 外周溝に(-)ドライバを差込んでゆるめてください。

2. 手前の止水栓(湯側・水側)を閉じる。  
 ストレーナ  
 止水栓  
 サーモスタット

3. 定量ハンドルを開き、止水栓で止水したことを確認する。  
 ハンドルを開く

4. (-)ドライバを溝に差込み、ストレーナをゆるめて取出す。  
 注: ストレーナ部の周囲のこみは、取除いてください。

5. ストレーナを取出し、ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで取除く。

6. ストレーナを元どおりに戻し、止水栓を開く。

7. プレートをかぶせる。  
 プレート

8. プレート押えにパッキンを入れて、ねじ込む。  
 パッキン プレート押え

9. プレート押えにカバーをかぶせ、ハンドルを取付ける。  
 小ねじ  
 カバー  
 プレート押え

10. 定量ハンドルにインテックスを取付ける。  
 インテックス  
 定量ハンドル

注: 器具内の残水が流れ出てきた場合には、雑巾でふき取ってください。

## 故障したときは

定量機能が故障し、湯水が止まらないなど、緊急を要するときは、下図の要領で止水栓を閉めてください。

1. 付属の開閉工具で止水栓キャップを外す。  
 開閉工具  
 水側止水栓キャップ

2. 奥まで(-)ドライバを差込んで止水栓を閉める。  
 開まる (-)ドライバ



故障の修理はお取付工事店にご依頼ください。なお不明の点がおございましたらお客様相談室にお問合わせください。

●修理を依頼される前に  
簡単な故障はご家庭でも直せますので修理を依頼される前に次の点検をしてください。

●故障内容

吐水流量が少ない

高温又は低温がでない

目盛と湯の温度がちがう

湯水が止まらない

湯量が大きく狂う

●点検内容

止水栓は開いているか  
ストレーナのごみつきりはないか

混合栓に湯がきているか  
温度調節はよいか

シート部にごみをかんでいないか  
バルブの小穴がつまっていないか  
設定ハンドル目盛が「止」の位置にあるか

設定ハンドルの動きを妨げないか  
湯量の設定をまちがわなかったか

→自動バルブの掃除のしかた

1	バルブカバー 止水栓	バルブカバー を 取 外 し た 後、 水 側 ・ 湯 側 の 止 水 栓 を 閉 め、 湯 水 を 止 め る。 (P13を参照)	5	シートパッキン にごみかみがないか調べる。
2		設定ハンドルを矢印方向へ止まるまで回す。	6	小穴 がつま って いた ら 細 い 針 金 (荷 札 の 針 金 な ど) で 掃 除 す る。
3	バルブカバー	バルブカバーを 開ける。	7	バルブカバー を 元 ど お り に お さ め、 バ ル ブ カ バ ー を 閉 め る。
4	バルブ	バルブ部を取出す。	8	水側・湯側の止 水栓を開き、ブ レートカバーを 取付ける。 (P14を参照)